

ヤマト運輸株式会社の事業適応計画のポイント

令和5年8月31日

- ・ヤマト運輸株式会社は、日本における温室効果ガス排出の約19%を占める運送業の一員として、輸送パートナーを含めた業界全体の温室効果ガス削減と地域レジリエンスの向上を実現するべく、再生エネルギーの調達からEVの導入までを連動させた、グリーンエネルギーのエコシステムの確立を目指しています。
- ・今回の計画では、グリーンエネルギーのエコシステムの確立に向けて、EV車、太陽光発電設備を導入し二酸化炭素排出量の削減に取り組むとともに、キュービクル、EV車充電設備の導入による電力需給のオペレーションの最適化に取り組むことにより、炭素生産性の向上を図ります。

<事業適応計画の概要>

1.事業適応計画の実施期間
2023年8月～2026年3月

2.生産性向上目標
炭素生産性を16.5%向上させます。

3.前向きな取組の内容
EV車、太陽光発電設備を導入し二酸化炭素排出量の削減に取り組むとともに、キュービクル・EV車充電設備の導入による電力需給のオペレーションの最適化に取り組むことにより、炭素生産性を向上させる。

4.支援措置
税制措置(カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)

<取組内容のイメージ>

